

2021.10.2 sat — 12.19 sun

千葉市美術館 Chiba City Museum of Art

福 田美蘭(1963-)は、東京藝術大学を卒業後、史上最年少での安井賞受賞や国際展での発表等、国内外での活躍を通して独自の作風を切り拓き、絵画の新たな可能性に挑戦し続けています。人びとの固定観念を覆し、新たなものの見方や考え方を提案する福田の芸術は、単なる絵画という枠にとどまらず、豊かな発想力によって独自の展開を遂げてきました。

これまでも日本美術をもとにイメージを広げた作品を多く発表してきた福田ですが、本展では、千葉市美術館のコレクションから、自らが選定した江戸から明治時代の美術をきっかけに、新たに創作された作品を中心に展示します。福田は、もともとなった日本美術をどのように写し、読み解き、このように思いもよらぬ絵画を生み出していくのでしょうか。周密な観察力や入念なりサーチに裏打ちされた、精緻な表現と自由な発想とが共存する福田の新たな作品は、私たちの日本美術への眼差しを更新するとともに、作品を鑑賞するとは何かということを改めて考えさせてくれるでしょう。福田の新作とともに、発想元となった千葉市美術館のコレクションも同時に展覧いたします。

本展は、2001年の世田谷美術館、2013年の東京都美術館以来の大規模な個展となります。福田の飽くなき探究心をもって制作された作品を通して、コレクションの意義を見直すとともに、美術館という場における私たちの体験そのものを問い直す契機になればと願っています。



月岡芳年
《風俗三十二相 けむさう 享和年間内室之風俗》
大判錦絵 明治21年(1888) 千葉市美術館蔵



福田美蘭
《風俗三十二相 けむさう 享和年間内室之風俗》
印刷物にアクリル絵具、ミクストメディア 2020年

月岡芳年は浮世絵の衰退期と言われる激動の時代に浮世絵師であることと、風俗画家として新しい世相を描くことの狭間で、報道性、時事性を備えた新時代の要望に応える作品の可能性を追求した。「風俗三十二相」は女性の心情や願望を描き出した芳年の晩年を代表する美人画で、そのうちの「けむさう」は、奥方が広がる煙に悩まされる様子を描く。芳年の持つ、師匠の国芳に通じる反骨の気性を反映させて、ここではその煙は五輪のかたちとなり、オリンピックの東京招致が決まってから、五輪マークに象徴される威圧感、また複数の人が心の中で「なんかいやだな」と思うけれど、なかなか言い出しづらい「オリンピックがけむたい」という2020年の心情を表している。(福田美蘭)

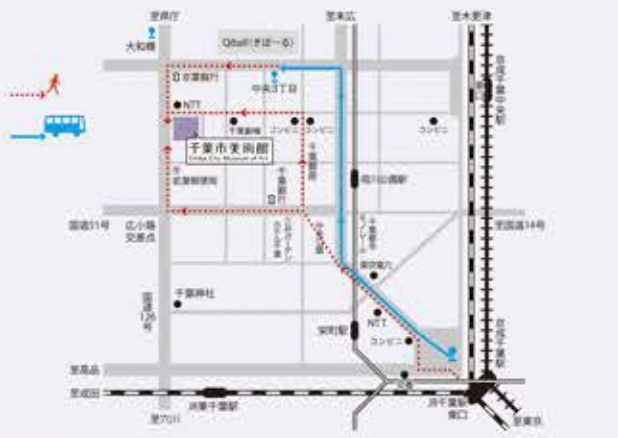


福田美蘭《見返り美人 鏡面群像図》
パネルにアクリル絵具 2016年 千葉市美術館蔵

関連プログラム

- エドゥケーター・ラリープログラム
「あらわる★ミカタ案内人」
展覧会を様々な角度から楽しむワークショップを開催します。江戸絵画×現代美術、楽しみ方はいろいろ。たのしい「ミカタ案内人」といっしょに、作品のミカタをどんどんひろげよう！
- 10月16日 | 土 | 講師：佐藤麻衣子(エドゥケーター/プログラムコーディネーター) 白鳥建二(全盲の美術鑑賞者)
 - 10月31日 | 日 | 講師：小田久美子(エドゥケーター)
 - 11月13日 | 土 | 講師：藤田百合(エドゥケーター)
 - 11月27日 | 土 | 講師：齊藤佳代(エドゥケーター/鑑賞ファシリテーター)
 - 12月11日 | 土 | 講師：日井隆志(アートエドゥケーター) 夏川真里奈(アートエドゥケーター)
- *詳細、申込方法は美術館ホームページをご確認ください。
*応募者多数の場合は抽選を行います。

- 【同時開催】
5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」 特集：吉澤美香
休室日：第1月曜日
- 4階子どもアトリエ「つくりかけラボ05 松本力 | SFとりはうたう ひみつを」
10月16日 | 土 | — 12月26日 | 日 | 休室日：第1月曜日
- 【次回展予告】
「ジャポニスム——世界を魅了した浮世絵」
2022年1月12日 | 水 | — 3月6日 | 日 |
- 「つくりかけラボ06 岩沢兄弟 | キメラ遊物園」
2022年1月13日 | 木 | — 4月3日 | 日 |



- 【交通案内】
- ・JR千葉駅東口より、徒歩約15分/バスのりば7番より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分/千葉都市モノレール県庁前方面行「霞川公園」下車徒歩約5分
 - ・京成千葉中央駅東口より、徒歩約10分
 - ・東京方面から車では 京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く、地下に機械式駐車場があります(車高155cmまで)。
 - ・シェアサイクルスポットがあります。

- 市民美術講座
「現代美術の一傾向——引用 黒田清輝の作品を例に」
10月23日 | 土 | 14:00より(13:30開場予定) 講師：山梨絵美子(当館館長)
11階講堂にて/先着60名(当日12:00より1階にて整理券配布)/聴講無料
- 「イメージ遊びを楽しむ——浮世絵と見立・やつし」
11月6日 | 土 | 14:00より(13:30開場予定) 講師：田辺昌子(当館副館長兼学芸課長)
11階講堂にて/先着60名(当日12:00より1階にて整理券配布)/聴講無料
- 「ミカタ案内人のチャレンジ——エドゥケーターによる鑑賞ワークショップの実践紹介」
12月12日 | 日 | 14:00より(13:30開場予定) 講師：畑井恵(当館学芸員)
11階講堂にて/先着60名(当日12:00より1階にて整理券配布)/聴講無料

- 託児サービスデー(事前申込制)
子育て中の方も、安心してゆっくりと美術鑑賞をお楽しみください。保育士の資格を持ったベビースITTERがお子さまをお預かりします。
11月23日 | 火・祝 | 13:00-16:00
*詳細、申込方法は美術館ホームページをご確認ください。

※館内に新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております。
・体調のすぐれない方の来館はご遠慮ください。
・咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底にご協力ください。
※内容やイベントが変更になる場合があります。最新の状況はホームページをご確認ください。



福田美蘭《大津絵一雷公》
パネルにアクリル絵具 2014年
群馬県立館林美術館蔵



鳥居清徳《二代目市川團十郎の虎退治》
大々判丹絵 正徳3年(1713)頃
千葉市美術館蔵



福田美蘭《二代目市川團十郎の虎退治》
パネルにアクリル絵具 2020年



慶川積宣《酒吞童子 表章》
大判墨摺華彩 延宝(1673-81)末期 千葉市美術館蔵



福田美蘭《大江山の酒吞童子退治》
パネルにアクリル絵具 2019年